

## ■「環境公共」事例紹介

### 上小国地区ビオトープ池の転落防止柵設置作業

令和4年7月に外ヶ浜町上小国地区のビオトープ池で転落防止柵を設置しました。

このビオトープ池は、平成20年から平成24年にかけて実施されたほ場整備事業を契機として、魚類や昆虫類などの多種多様な生き物の生息環境を保全するために、当時、活用されていなかったため池を整備し造成されました。

しかし、近年は経年劣化によって、護岸や橋の損傷が見られ、例年開催している地元の子どもたちに向けた生き物観察では、安全に観察できないといった問題が発生しています。

そこで、ビオトープ池周辺の安全性を向上させるために、県の「中山間ふるさと・水と土保全対策事業」を活用し、毎年少しずつ上小国地区環境公共推進協議会のメンバーによって補修作業を実施してきました。

今年度は、昨年度に引き続き、地元の児童が安全に観察会を行うために、池の周りに転落防止柵の設置を行いました。

今回は、あらかじめ穴あけ加工が施された木杭をビオトープ池の周りに打ち込んでいき、その木杭の穴にロープを通すといった作業を行いました。

木杭を打ち終わり、ロープが通された転落防止柵は、きれいで、堅牢な仕上がりとなり、苦労して設置した甲斐があったものとなりました！



転落防止柵設置の様子

「環境公共」HP

<http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/agri/kankyokoukyou.html>

